



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」 ～長崎県を活性化するために、会勢700名を達成しよう～

ダイヤモンドクラブ例会 開催！！



5月23日(土)18時より出島地区会 岩崎さんのお店“プリマヴェーラ”にて今期第1回目となるダイヤモンドクラブ例会を開催致しました。

今回新規対象の8名を含め総勢52名と、着々と会勢拡大が進んでいる中、23名の参加でダイヤモンドクラブの存在意義と互いの健康(笑)を確認しあいました。司会はもちろんこの方 品川さん！今回もたいへん盛り上げていただきました。

初参加の城尾さんのスローガン唱和に続き、握手タイム。皆さん久しぶりのあいさつと共に堅い握手を交わされていたのが印象的でした。

ダイヤモンドクラブとは、1998(平成10)年7月28日に設立された組織で、その『目的』は「天は自ら援くるものを援く。我々は、若い感性と行動力をもって、同友会三つの目的達成のために集結し、研鑽する。」、『活動内容』は「1. 会員相互の経験、知識、

ダイヤモンドクラブ会長 富永 英則

技術、経済などの交流及び親睦のために例会を開催する。2. その他この会の目的達成のために必要なあらゆる活動。『対象』は「代表理事経験者ならびに20年(通算)以上在籍の会員、及び現役代表理事、事務局長」と定められています。

今期の『活動方針』として、「会員全員これまでの経験と知恵を大いに発揮し、同友会に入ってから良かったという思いを広く伝え、会員同士のコミュニケーションの絆を強くし、長崎同友会の更なる発展のために、当クラブがなくてはならない存在として、その役割を果たせる様に、加悦副会長はじめ皆さんと一緒に頑張りたいと思います。」と述べさせていただきました。

たいへん有難かったのは、懇親交流会の中での「ひとり一言」コーナーにて、ダイヤモンドクラブまた、長崎同友会発展のために多くの建設的な意見を出して



目次

ダイヤモンドクラブ例会 開催報告	1	(株)福祉工房K's(佐世保支部 豊福和明会員) 経営計画発表会 参加報告 ...	14
5月例会・総会報告	2	事務局企業訪問	16
経営・労務担当委員会 企業訪問セミナー 開催報告	8	HP相互リンク募集	17
松浦市中小企業振興シンポジウム 共催報告	9	7月例会案内	18
九州・沖縄ブロック 支部長・支部役員研修交流会 参加報告	10	理事会議事録 抜粋	19
会員活躍	13	会員消息・会員数	20
島原支部 財務勉強会 開催報告	13		

いただいたことです。「同友会のすばらしさや歴史を伝える等、ダイヤモンドクラブでなければできないことに取り組もう！」「県本部より毎年10万円もの予算をいただいております、繰越金もあるので、もっと支部活性化の支援等を行おう！」等々。改めてダイヤモンドクラブ会長としての責任の重さを痛感しました。

ダイヤモンドクラブ会員の皆様に協力を仰ぎながら、長崎同友会への恩返しに取り組んでいきたいと思っていますので、これからもよろしくお願い致します。



長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	5月26日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	サステナブル企業を目指して ～同友会の学びを活かした経営戦略～ ～ビジョン構築から連携、そして継承へ～
報 告 者	(有)壽物産 代表取締役 永吉 誠 会員(島原支部)



5月例会は、島原支部の永吉誠さんに報告をしていただきました。

永吉さんは中学卒業後上京してから様々な職を転々とし、そのなかで出会った支援者の出資もあり、20歳で風俗業を開業しました。経営も順調な中で、永吉さんは出資してくれた方への恩返しのために、親会社の経営権を取ろうとしましたが、もう少しというところで部下の裏切りに遭い、すべてを失いました。それからは人間不信になり引き籠るほどどん底の生活を続けていましたが、このままではいけないと思い直し、再び風俗業を始めるために動き始めました。

そんな中、それまで長らく連絡の無かったお父様から届いた手紙で、永吉さんはお父様の会社が危機的状況にあることを知ります。当初は整理倒産の道を模索しましたが、連鎖倒産を防ぐためにはお父様の会社を継ぐしかないという結論に至りました。

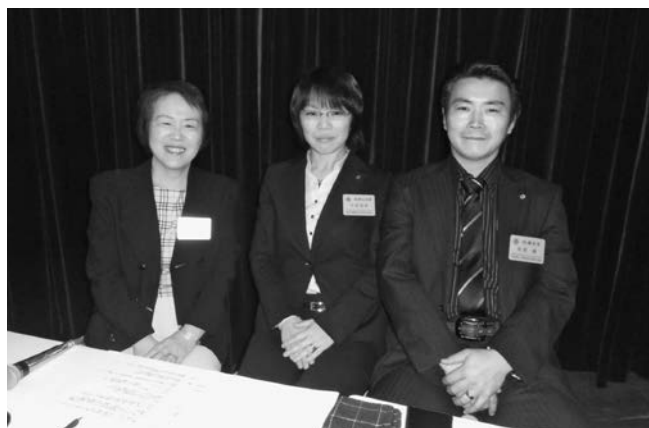
そこから会社再建がスタートするのですが、その過程で同友会との出会いがありました。永吉さんは他支

部の例会やイベントに積極的に参加されています。そこで出会った会員の方から多くのことを学び、経営に取り入れてきました。今回の報告の中でも、学んだ内容とその方のお名前を合わせてパワーポイントで列挙されていました。

後半では、報告のサブテーマでもある“同友会の学びを生かした経営戦略”を通じて、サステナブルな企業を目指していくという永吉さんの強い思いが感じられました。

最後の質問コーナーでは、今回座長の、奥様である永吉杏奈さんが永吉誠さんにインタビューする形式で、夫婦ならではの絶妙な掛け合いを交えながら進行されました。サステナブルという言葉は初めて聞いたという会員の方も多くおられましたが、非常にいい言葉だから取り入れたいという意見も多くありました。

(文責 北川 亮)



長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	5月20日(水) 午後6時30分
会 場	プリマヴェーラ
テ ー マ	マジックマナー教室 ～マジックで学ぶ礼儀作法～
報 告 者	オフィスドゥー 代表者 佐々田 剛史 会員



ホテルの都合で、今月末閉店が決まっている出島地区会 岩崎さんの店プリマヴェーラで今月例会は開催された。

報告者の佐々田さんは安定したサラリーマンの仕事を捨て、2年前にプロのマジシャンとして生きていくことを決意した。子供のころから人を喜ばせるのが好きで、自分の好きな道を選んだとはいえ勇気のいる決断であっただろう。その決断のきっかけとなったのが、オブザーバーとして参加した例会での山口憲男さんの報告を聞いたことだということである。

同友会例会の影響力のすごさを改めて認識した。山口さんの話が、佐々田さんの胸を突き刺し、最後の一



歩を踏み出す役目を果たしたと言える。ひと一人の人生を変える影響を与えた山口さんの罪は重い(笑)しかし、心配をよそに佐々田さんは現在成功の道を着実に歩んでいるようである。

マジシャンとしてはもちろんであるが、マジックマナー教室が今、子供たちあるいは各企業からも講演の依頼が多くあるということである。また、仕事は口コミ等で相手方から依頼が舞い込んでくるという羨ましい状況であるという。これは、佐々田さんのマジシャンとしての卓越した技術もさることながら、マジックマナー教室を通して世界中のひとに幸せになってもらいたいという氏の考え方、人柄によるものだと思う。佐々田剛史さんは四人の子の父親、前途洋々である。

(文責 飯田 義則)

大村支部 例会報告

日 時	5月18日(月) 午後6時30分
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	40年間もの大きな戦力になってくれる人材とは ～障がい者雇用を始めて気づいた大切なこと～
報 告 者	(有)エス・ケイ・フーズ 取締役 中村 こずえ 会員(長崎支部 出島地区会)

新たな大村支部体制での初回報告者は、ポジティブな考え方で積極的に障がい者を雇用し続けていらっしゃる中村こずえさん。

まず、会場の参加者を巻き込んで視点をひきつける表現に驚き、時には涙腺を刺激するお話や実際の仕事振りを撮ったビデオを見て感動し、そして人を大切にし、向き合ってお互いを知り合うことの大事さに気づかされました。

続いてグループディスカッションと質問。障がい者



を雇用する上での不安が多かったことは、ケガや事故への心配、採用の覚悟とポイント。採用前に何度も実習を行うことにより本人の適正を見分けて覚えるまでしっかり繰り返し教育し、実務では丁寧にキッチンと指示すれば正しく作業「できる」ということ…心を開い



た前向きな考えであり、この「できる」という意味を考えさせられました。また周りでは、気配りしサポートする姿勢も現れ、職場の雰囲気も良くなり、いっしょに働く人たちの人材育成にも成果につながるとの気づきを学びました。

障がい者の特性を知り、できることを学べば、「できる」仕事はたくさんあるとのこと。また、自社の業務では雇用できなくても障がい者を雇用している会社

と関ることで間接的に雇用することも可能だと気づかされました。このように社会との関りを持つことが我々の責任でもあり、同友会の目的や活動方針とも整合していけることを感じさせてくれました。

また、最後に「幸せ」とは、人を愛し愛され、ほめられ、役に立ち、必要とされる、と引用されたことが、障がい者雇用によって広がった視点そのものであるのではと気づかされたことが印象深かったです。

実は、報告の初めに会場の出席者に問いかけた行動に関する質問がありました。その中で実行できていないことが多かったのは、この「素直に指示を聞く」ということでした。丁寧にキチンと指示し、素直にハイと指示を受けいれるように心掛けないといけないと改めて気づかされた例会でもありました。そして、プラスな考え方で積極的に障がい者雇用に取り組んでいく中村さんの素晴らしい姿に感動し、心に響いた例会でした。

(文責 得田 稔)

諫早支部 例会報告

日 時	5月20日(水) 午後6時30分
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	圧倒的に人間関係がよくなる方法&スタッフが育つ仕組み ～私達はお客様をワクワクさせる人創り、店創りを目指して、感動を提供する会社～
報 告 者	(株)マツモト 代表取締役 松本 一孝 会員(長崎支部 浦上地区会)



5月例会は、浦上地区会の松本一孝さんに報告していただきました。

私の松本さんに対する最初の印象は『笑顔』です。トラブルによりプロジェクターが作動しないという状況でしたが、パソコンをシャイな性格と言い、笑顔で報告を始められました。

同じチェーン店でも店によって違いを感じるのとはなぜか？その理由は店ではなく、そこで働く人のイメー



ジが出すものである。だからこそポジティブな感情を持たなければならない。報告は、理路整然としたものではなく、全員で体を動かしながらポジティブな感情を体感するという魅力的なものでした。

『お客様をワクワクさせる会社』という経営理念の下、社員に対し、怒る、叱るなどの外的コントロールではなく、社員の言葉を傾聴し、支援するという内的コントロール対応に変えることで、人間関係を改善す

る。社員がワクワクする会社になれば、お客様はワクワクする。松本さんが実践されたことは、今の私になかったことであり、とても勉強になりました。

その中でも印象に残ったことは、経営者が言葉とイメージと感情のベクトルをポジティブな方向に揃え、良いものを言う、見る、感じることで、それが社員に伝わり、お客様に伝わる、ということです。

●スタッフの話は「…。」までしっかり聞く。

●常に何事も笑顔で対応する。

今後、私自身の『ベイベーステップ』にしたいと思っています。ポジティブな言葉とイメージと感情が『笑顔』の理由。それがわかった例会でした。

(文責 太田 陽)

島原支部 例会報告

日 時	5月18日(月) 午後7時
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	感動は連鎖する！ ～感動力で壁は乗り越えられる！～
報 告 者	(有)ドリームネットワーク 代表取締役 高光 りょうすけ 氏



5月例会は、新年度最初の例会で、感動教育家の高光 りょうすけさんからの報告ということもあり、会員31名オブザーバー16名合計47名の参加で、座長制で進められました。

高光さんは熊本の電気工事会社の2代目で、社長に就任され順調に業績を延ばされていた所に弟

さんのトラブルにより、まさかの坂に出会ってしまったそうです。その時は人間をやめるところまで追い込まれ、今日で人生を終えようと決めた最後の講演会の時に、アタッシュケースに奥様からの短い手紙があり、その手紙を読んだ事で火が付き、自分で何とかしようと思い直し、32歳の時に感動する事の大切さ、感動には奇跡を呼ぶ力があるとの思いから、感動教育家として新たな人生をスタートされました。

感動の3つの柱としまして、

①感動力を磨く・高める。

②感動は連鎖する。

③理念に基づいて会社を創る。

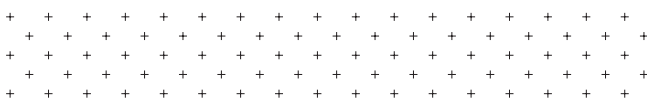
を掲げられ今日まで走り続けていらっしゃいます。

感動も1人だけではなく人と分かち合うと、どんどん広がり、展開も広がってくる。無感動の人は人に感動をさせる事は出来ない。いつでもどこでも感動できる人になる努力。会社はトップの器以上にはならない。人間は誰しも光を持っていて、会社は人生大学で、経営者は人生大学の学長です。人があなたについてくるにはたった一言。話す・笑顔・姿勢・うなずき・態度すべて大切に、一番の秘訣は憧れられる事。温かい心が人に感動を与えたとの教えをいただきました。



感動にまつわる内容で、自分が輝く為には自分の目の前の人を輝かせること、メンタルを強くする一番の方法は親への感謝等、沢山の気づきが得られました。その後の懇親会にも沢山の参加があり、おおいに盛り上がりました。

(文責 山内 常代)



投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどで紹介下さい。

●文字数/約500字

●画像/歓迎します

☐掲載/情報広報委員会にて選考

☐投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

☐メール/ jimu@nagasaki.doyu.jp



佐世保・北松浦支部 合同例会報告

日 時	5月15日(金) 午後7時
会 場	アルカス SASEBO
テ ー マ	「がん」になったからこそできる事 ～スナックのママがNPOを立ち上げた！～
報 告 者	ラウンジ葵 代表者 吉村 市代 会員(佐世保支部)

5月例会は、長崎同友会に女性部会が発足されるということもあり、報告者を吉村市代さん、司会を中野さとみさん、座長を横石たまきという女性が担っての例会となりました。

また、吉村さんの提案で北松浦支部との合同例会となり、長崎県と共に女性特有のがん早期発見の啓発活動となる報告でした。

吉村さんは、ラウンジ葵の経営の傍ら、福祉的活



動、児童養護施設との交流、高齢者との交流を図られている中、肺癌そして7年前に乳癌の手術。ご自身の人生に予期せぬ大難を抱え、そして復帰。その道のりで出逢った人たち。「がん」になったからこそできる事と題して報告される吉村さんが、病気を克服し立ち上がっての活動の数々が、今回100名近くの参加者に繋がっていました。

グループディスカッションでは「あなたのできる社会貢献は何ですか？ 今日話を聞いて行動を起こそうと考えますか？」という議題に、参加者の一人一人が、できる限り呼びかけていこうと決意されたことと思います。

今後も吉村さんがお身体ご自愛され、益々、啓発活動が浸透し、乳癌の早期発見早期治療で人命救助がなされますように御祈念いたします。

(文責 佐世保支部 横石 たまき)

5月例会は、佐世保支部との合同例会として開催されました。報告者は飲食業を営んでいる吉村さんで、ご自身が体験された「がん」についてのものでした。

現代日本では二人に一人が癌に罹り、そのうち三人に一人が癌により死亡されているそうでその数字の大きさに驚かされました。例会参加者もオブザーバーを含め非常に多く、ディスカッションに入るとテーブル内でも親族や友人知人に癌を発症されている方がいるという話も複数あり、やはり吉村さんが啓発されて



いるように癌は身近なものだということがわかりました。

吉村さんはその経験からNPO法人を立ち上げられ、現在は県と共に活動されているそうです。またNPO法人立ち上げには困難がありながらも、長年飲食業を営まれていた事による人脈が助けになったというお話が印象的で、やはり何をするにも人と人なのだという事を再認識させられた例会でした。

(文責 北松浦支部 中村 寿弥)

五島支部 例会報告

日 時	5月14日(木)
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	商人として蒲鉾屋としてのこれまでとこれから ～チャレンジとコツコツ経営～
報 告 者	(有)シキシマ 代表取締役 敷島 広太 会員(島原支部)



今年度、第1回となる例会が新役員体制のもとスタートしました。報告していただいたのは、島原支部前支部長の敷島さんです。会社はお父様が創業され、敷島さんが2代目で今年創業57年をむかえる歴史ある会社です。主にかまぼこの製造・卸・販売や氷・海産物・菓子・酒類販売をされています。幼少のころの話から、販路拡大、新たな工場店舗建設と順風満帆と思いきや、巨額の借金問題など、若くして社長になられてからのご苦労なども、報告していただきました。

社長に就任してからは、同友会で理念の大切さを学び、経営計画書を作成し社内のルールブックとして活用されています。販売では、酒とかまぼこのお父さん向けの商品やお祝用の鯉かまぼこ、ホワイドデーかまぼこ、富裕層向けの高級おでんセットなど多くのアイデアを生かした商品開発をされているとのことでした。

グループディスカッションでは、「とても勉強されている」「分かりやすい報告でした」「とても真面目な方だ、アイデアと人脈を生かし商品開発をされている」

など多くの意見が出ていました。また、サブテーマに～チャレンジとコツコツ経営～とあるように、挑戦や攻めだけでなく地道に商売をすることも大事、この両面のバランスが大切、とても勉強になった、との意見もありました。

最後に報告のまとめとして、報告者がこれまでに学んだこと、一、「利益は預かりもの」一、「いい時代は決して続かない」一、「天の蔵に貯蓄」とても深いものがあると思います。敷島さん、貴重な報告ありがとうございました。

今月は3月に入会された、明石さんのバッジ贈呈も行われました。あいさつでは、さわやかに、抱負を述べられていました。明石さんのこれからの末永いご活躍をご期待いたします。

(文責 設楽 誠)



青年経営者会 総会報告

日 時	5月9日(土) 午後6時
会 場	老李(ラオリー)

松尾代表理事、出口長崎支部長、福井長崎副支部長、吉澤理事、永末理事と非常に多くの来賓の方々にもご出席いただき、第1号議案から第3号議案まで滞りなく審議・承認されました。

新年度の役員は、会長に山口善也、副会長に植木博路と吉川裕也、幹事長に橋本裕次郎、会計に飛田精一、監査に鹿島啓介、顧問に西村繁彦という顔ぶれになり

ました。

3期目となる山口会長は、昨年度から着々と取り組まれている「九州一円の同友会の若手経営者との交流を促進していこう!」という大きなテーマを今期さらに拡げていかれるものと思われます。

今回は、福岡同友会青年支部、北九州青年懇話会、熊本同友会青年部会、鹿児島同友会青年部会の皆様にお出でいただき、お互いの県での活動報告や今後の活動方法などのディスカッションもでき、九州の青年経営者をもっと盛り上げていこう!という想いの下、様々な意見交換ができ、お互いに感化される場面が多



かった総会になりました。

青年経営者会としても、今後ますます活動を活発化させ、お互いが切磋琢磨し、自己の成長につなげることが出来る環境ができてきました。

そんな状況の中開催された定時総会は、今後さら



に会員一丸となって青年経営者会を盛り上げ、実りある会にしていくきっかけとなる有意義な会となりました。

(文責 吉川 裕也)

経営・労務担当委員会主催 会員企業訪問セミナー開催報告

訪問企業名：九一庵食品協業組合（大村支部 徳田伸義 会員）

日時：5月9日（土） 午後1時30分～3時30分



長崎同友会は、互いに企業訪問を計画的に行い、本音で学びあうことを事業計画の一つに掲げて運動しております。今回『すすめよう！強靱な企業づくり』と題し、九一庵食品協業組合にて、企業訪問セミナーを開催致しました。（参加者36名）

本社工場は大村市東大村に位置し、広大な敷地は太良岳の山あいの素晴らしい環境に包まれています。エコプラントと呼ばれる最新鋭の製造機器からは、製品の安心、安全はもとより、『素材、水、味、健康』にこだわる豆腐職人の意気込みを感じ取ることができます。

徳田さんは、同友会の学びが九一庵の設立に繋がっており、平成7年4月、県内の同業5社と九州一の豆腐企業を目指し、九一庵を立ち上げられました。経営計画書を毎年作成し、経営者と社員さんが、同じ方向に向かって意思相通を図り、実践し続けたことが、



九一庵と社員さんの成長に欠かせなかったとのこと。社内には、一人ひとりの昨年の目標に対する検証と反省から、今年度の決意と目標が顔写真付きで掲示されています。

共に育つ企業の基本であるPDCAが確立され、設立から20年で九州一を目指せる位置へと発展してきた旨の貴重な報告をいただきました。

次に徳田総務部長からブランディング戦略について報告いただきました。消費者の8割は『くいちゃん』と思っている。社名もきちんと覚えられていないのに、商品の良さや魅力がはっきり伝わっているのか。こんな疑問と向き合う中、学んだことを実践する『TTP』を積極的に展開されています。

徳田部長の凄いところは、ただ事象のパクリではなく理論のパクリです。実践する四つのポイントは、①「真のお客様は誰だ」②「何をつたえるの」③「伝える手段は」④「どうやって集めるの」です。次にお客様の共感を得るには、お客様の期待を超えるものを提供することが重要であるとした、顧客満足の公式を活用されています。

工場見学者は2014年度実績2,000名、2015年度は3,000名が目標です。既に2ヶ月間で500名以上と順調に推移しています。工場見学で大切にされていることは、『クチコミ』と『お豆腐を買う理由を提供すること』です。非常に解り易



かったのが、女性30名に伝えたと100名に伝わるそうです。お客様は買う理由を求めており、買ってもらえる仕掛けとストーリー作りが重要と力説されています。

TTPを活用した九一庵のブランディング戦略から、真の豆腐企業日本一を目指す経営者の強い覚悟を感じ取ることが出来ました。私はこの気づきを自

社流にTTPしたいと思います。今回は参加できなかった皆さん、同友会の仲間、地域やサークル、学校関係等で是非、九一庵を訪問してみたいでしょうか。セミナーは通常はありません。気軽に予約してください。伝説のお豆腐に出会えますよ。

(文責 経営・労務担当委員長 吉澤 健)

【参加者の感想】

工場の様子をみながらのご報告。インパクトがあり、意気込みを感じました。口コミの大切さ、経営計画の実行と実践。お客さまへの商品の想い。価格ではない質で勝負。最大手との差別化を明確に意識された姿に感動しました。クラウンに乗り続ける意味にも共感いたしました。

(文責 諫早支部 杉本 誠二郎)

松浦市中小企業振興シンポジウム 共催報告

5月30日に松浦市文化会館ゆめホールにて松浦市主催、共催を松浦商工会議所・松浦市福鷹商工会・長崎県中小企業家同友会により中小企業振興シンポジウムが開催されました。これは、松浦市での中小企業振興基本条例の制定により、必要な施策を協議・提案していく中小企業振興会議の発足を受け、「エコノミックガーデニング松浦」を目指し、中小企業・大学・金融機関・行政・市民が協働して、中小企業を育みやすい土壌づくりをスタートする目的で開催されました。

第1部は「地方創生の主役を担う中小企業振興～中小企業振興会議発足に寄せて～」と題して、中小企業庁長官 北川慎介氏に講演いただきました。

まず、地域経済を担う中小企業・小規模事業者の現状やイノベーションの推進、中小企業・小規模事業者対策として、現在取り組みがされている「地方創生交付金」、具体的取組や資金繰り支援・中小企業を巡る税制(外形標準課税)(事業承継税制)(外国人旅行者向け消費税の免税等)について説明がありました。今後中小企業・小規模事業者にとっての最大の課題として「人財の確保」を指摘されました。

第2部はパネルディスカッション「中小企業の未来を拓くまちづくり」と題して行われました。

コーディネーター

山本尚史氏(拓殖大学政経学科経済学科長)

パネリスト

車 相龍氏(長崎県立大学経済学部地域政策学科)

稲沢文員氏(松浦商工会議所・中小企業家同友会)

前田周二氏(松浦市工業会)

熊本志穂美氏(女性起業家)

まず、自己紹介、日頃の取り組み、将来の事業の後、今後の課題について各々発言がありました。

稲沢氏は、「流通にとって重要な西九州自動車道の早期開通や工業団地への企業誘致、しかし誘致後の労働者・人材不足である。また商工会議所のビジョン策定で行政と会議所の隔たりの大きさを実感し、中小企業家同友会として中小企業振興基本条例制定を行政に呼びかけ、条例制定、振興会議の発足に至った経緯を紹介され、「産・学・官・金・労・言」のネットワークが重要のようです。」

前田氏は、「コミュニティづくり、教育機関と企業での連携による人財育成、元気ある松浦づくりを行うことが重要だと思います。」

熊本氏は、「起業してから2年が過ぎ実感したことが、起業後の行政や会議所のサポート体制が充実しなければ起業や第2創業などなかなか簡単にできないように思えた。現在、異業種との交流の中でネットワーク、イベントづくりをしている。」

車氏は、「ネットワークづくり・伝統や今の繋がりを見て、これからの物語をつくるのが大切。また、遊びの中から学ぶ姿勢も必要です。」と語られました。

アドバイザーの北川慎介氏は、「地域のつながりをよく考え、若い経営者同士の緩やかな集まりの中、私たちは誰に何を伝えるのか、このことを地域再生として考えていく。」と締めくくられました。

(文責 北松浦支部 津崎 幸三)

九州・沖縄ブロック第9回支部長・支部役員研修交流会 参加報告

日時：5月21・22日(木・金) 会場：鹿児島 城山観光ホテル

<1日目>

提起者：中村 高明 氏
(株)紀之国屋 会長・中同協副会長
<九州沖縄ブロック担当>

事例報告者：①組織強化と支部づくり
佐賀同友会 西支部支部長
平田 憲市郎 氏 平田花園 代表者

事例報告者：②企業づくりと支部活動
長崎同友会 経営・労務担当委員長
吉澤 健 氏 (株)ヤマハマリン西九州 代表取締役

事例報告者：③地域づくりと支部活動
大分同友会 豊後高田支部長
近藤 洋介 氏 (有)大樹 代表取締役

大分同友会 豊後高田支部
条例制定準備委員会 副委員長
中村 慎一郎 氏 (株)中村建材店 代表取締役

<2日目>

「エネルギーシフトで地域が変わる、日本が変わる」
講師：村上 敦 氏 (ジャーナリスト)

長崎支部副支部長・浦上地区会長 池田 繁隆

まず中村さんの問題提起で、私たち役員はリーダーとして同友会の中で学び、それを企業の中で実践して企業を成長させながら同友会に還元し、同友会組織の質を高めて行かなければならない。自社の発展と同友会組織の強化は両立出来るどころか、二輪車の両輪の様に切り離せないものだ学びました。

我が長崎の吉澤さんは、自社の経営理念と経営計画書を作り、それを経営実行書としてきちんと実践して行く。その為に経営内容を全てオープンにして社員と経営実行書を共有する事が大事、さらに同友会での出来事を社員に話す事が出来る様に成らなければいけないと話されました。この『経営実行書』に共感しました。

大分の近藤さん、中村さんは豊後高田市の中で同友会の組織率が10%を越えている。だから地域の中で存在感が有り、商工会議所を巻き込み、自治体をどんどん後押しして、中小企業振興基本条例の制定が進んでと話されました。

この様な一日目の学びで、私達は同友会の中でもっと学び、実践して自社を発展させて、そういう仲間を増やしていく。その結果同友会が地域に認められる組織に成っていくその為の先導役になりたい、と思いま



した。

二日目は村上さんから、エネルギーシフトというのは国レベルの話と聞いていましたが、小さな地域の中でもエネルギーを作る事が出来、中小企業で連携してエネルギーの循環を行い、コストは高くなっても地域のお金が回るのだから、地域の方にも理解して貰えると思います。やり方によっては多くの中小企業の仕事に結び付くと学びました。

最後にこの様な学びを得ても行動しなければ何の成長もありません。会員仲間でもっと学び合い、出来る事を模索して、長崎市の中小企業振興基本条例の制定に繋げ、地域に認められる同友会を目指したいと思えます。

仲間づくり委員長 杉本 誠二郎

1日目中同協副会長の中村高明さんから支部長・支部役員の役割をお聴きし、Aリーダーとして習得しておくこと、B同友会リーダーとしての心構えと責任、C役員に具体的に求められる取組など各項目の中、経験から出来ていないことばかりと反省しました。

事例報告①若い佐賀同友会 平田支部長のご経験の中、同友会との不離一体を目指す行動。佐世保での経営フォーラム参加の後、高田社長へ積極的に独自色のカーネーションを打診し、販売協力をいただき、実行された行動力。支部長になられ、奥様同志の結束、25万円の経営指針の作成セミナーの参加促進など取り組まれている。



②長崎同友会 吉澤経営・労務担当委員長の企業づくりと支部活動。サラリーマンから経営者へなる経緯、そして、社員さんとのズレ、そして立ち直っていくさまがまさに同友会と会社が不離一体となっておられること、長崎同友会でお聞きしていたことがまさに他県の方々に感動を呼んでいました。何度お聴きしても素晴らしい。

③大分同友会 近藤支部長・中村条例副委員長 地域づくりと支部活動。地域をまとめる難しさ、そして、地域の人口減少をくい止めるための一致団結について話されました。改めて、大分同友会の条例制定に向けたご努力を認識した気持ちになりました。

グループ討論では、すべてに対して各役員方々の積極的な意見交換、真剣度合そして良い事例・話しは持

ち帰るんだという姿勢を見ました。仲間づくりの大切さ、そして仲間を増やす意気込みが伝わる討論でした。懇親会では、エルビスプレスリーの衣装の司会の方が和ませ、各県の方々がすべて順に舞台へ上がり、活気ある意気込みを伝えて一日は終わりました。

2日目「エネルギーシフトで地域が変わる、日本が変わる」講師 村上 敦氏

風力発電バイオマスなど、日本とドイツとのエネルギーの考えの違い、地域・地域でエネルギー問題は解決していき、地域でエネルギーにかかる費用・利益を循環させることの重要性。地域の中で投資をしあい、作り上げていき、外にお金を出さなくする。事例として北海道の家庭は熱を逃がさないなどの工夫をしているなど、わかりやすく教えていただき、同友会の指針の中に組み込むべきとか、いままでと違う会社のエネルギー消費費用を考え一つで変えることができそうという話しも飛び交いました。無理ない省エネ。クールビズは、毎年の達成率を上げるのに、冷房温度設定を上げていくとなると無理がある。無理なき省エネのドイツの事例をお聴きし、今ある施設のエネルギー効率基準が踊らされていることに気づきがありました。

今一度、見直す大切を認識した二日目でありました。鹿児島同友会のご尽力、そして積極的なご接待、感謝申し上げます。

代表理事 松尾 慶一

福岡17名・佐賀10名・長崎13名・熊本13名・大分11名・宮崎16名・鹿児島33名・沖縄11名・中同協1名の総員125名・16テーブルで開催されました。各県の役員さんの顔なじみも増えて挨拶もひとしきり行いましたが、どうしても思い出せない方もおられ記憶力の低下を反省します。

さて、初日の支部役員の役割はどうあるべきかについて多くの示唆を学びました。まず私達自身で学べる役員会作りが必要である。今の環境や情勢を正しく判断し、自社の経営にどの様な影響をもたらすのか常に話し合う。そして、事例報告では長崎代表、吉澤健さんの報告に参加者全員が心を動かされました。まさに同友会運動の体現者として、経営者の生き様を話されました。

グループ討議では、新しく役員になられた方々の戸惑いの中にも役員としてチャレンジして行こうという意欲を感じ私も初心に帰った感が有りました。

2日目の講演が私にとって一番衝撃的で勉強になりました。「エネルギーシフトで地域が変わる、日本が変わる」ジャーナリストの村上敦さんの話でした。これまで何度も耳にして来ましたが中同協でヨーロッパを視察するなど幹事会でも話題になっていたのですが、きちんと話を聞いていませんでした。大反省！内



容としては、ドイツのエネルギーに対する考え方や自給の現状を知り愕然としました。

電力一つを取っても、お金を払って使っていても大手に吸い取られている事、自分たちで投資をしてエネルギーの自給をしないと明るい未来は存在しないと学びました。自給すなわち自立こそが私たちの未来の重要な要素となります。改めて、我慢の省エネではなく本当の意味での省エネに取り組まなければならないと思い知らされました。

参考までに、この本を読んでもください。いしずえ新書、村上敦著「キロワットアワー・イズ・マネー」あなたの街の市長さんに絶対に読んでほしい本、第一位！

佐世保支部20周年記念イベント実行委員長

村山 隆之

当初、佐世保支部20周年記念イベント実行委員長という役柄から参加しなくてもいいかなという気持ちでした。しかし、今期佐世保支部 支部長が、私が同友会にお誘いした中島禎雄さんに代わったことから一緒に二日間勉強しようという気持ちが湧き参加致しました。行き帰りと山領前支部長、中島新支部長との3名で同友会関連の話をしながら片道4時間半の自家用車で移動でした。

研修会がはじまり、トップバッターは昔からよく知る福岡同友会重鎮の中村高明さんです。今までの実践に基づいたわかりやすい内容。一言でいえば「企業経営と同友会活動は、不離一体である」「よく車の両輪と同じ」と言うが全く違う。両輪だと片方が多く回ると真っ直ぐに進まない車は壊れてしまう」中村さんは何度も何度も「不離一体」という言葉を繰り返しお話しされました。今でも中村さんの「不離一体」の言葉がこたまします。

次に事例報告です。やはり何といっても長崎同友会の(株)ヤマハマリン西九州 代表取締役 吉澤健さんです。体験談に基づく素晴らしい発表です。同友会で学び、一人一人の社員さんのことを考え経営している

姿には多くの方々が感銘を受けていました。

今回参加して残念だったのは、各支部役員の方々の参加が非常に少なかったことです。すばらしい役員研修会が開催されても役員さんの参加が少ないと、このすばらしい研修内容を各支部に落とし込むことは出来ません。役員さんのパワーアップなくして同友会の成長はないと思います。そのためには多くの時間と旅費を必要とする役員研修会に多くの役員さん（特に会歴の浅い）に参加補助費の援助を行う必要があると私は思います。会社経営は、投資と回収の仕組みです。理事の皆さん、来期は役員さんに参加補助という投資をしてみたら？投資なくして回収はありません。

「企業経営と同友会活動は、不離一体である」全くその通りと感じる鹿児島での役員研修会でした。



同友会事務局 田口 友廣

1日目、中同協 中村副会長から問題提起があり、役割や心得をしっかりと整理・確認することができました。そのなかで「同友会活動と企業経営は車の両輪ではなく、不離一体である」という話がありました。両輪というと車軸に2つのタイヤがついている状態で、どちらかが進み過ぎてしまうとあらぬ方向に進んでしまう。しかし不離一体とは、二輪車のように後輪が同友会運動で、学ぶほどその推進力が前輪の会社経営にもつながり進んでいくということは新たな学びでした。

次に事例報告として①佐賀同友会 平田さんは、支部づくりの取り組みとして役員を増やして役割を与え、参加意識を上げる。理事会の審議事項は2～3日以内に魂込めてまとめ、メールで伝える。こうした取り組みの結果、例会でのオブザーバー参加が前年度比200%を達成しました。最後の「歩みを止めたら衰退していく」という言葉が印象的でした。

②長崎同友会からは吉澤さんが企業づくりと支部活動をテーマに、実績重視の経営から社員の軌轢が生まれたこと、同友会での学びを実践することで変わっていったことをお話いただきました。これまでの同友会での学びとTTP(徹底的にパクリ)し、実践したことが当日配られた不離一体シートに明確に記され、実践することの大切さをグループディスカッションでも改

めて確認することができました。

③大分同友会 近藤さんと中村さんからは条例制定に向けたこれまでの活動を分かりやすく説明いただき、条例制定にあたりまずは仲間を増やすこと、同友会の会員を始め他団体を巻き込むことが大切だと語られました。また条例制定の意義として「地域を持続可能な魅力溢れる街づくり」のためであり、終始地元への愛着が伝わる報告でした。

2日目にはフリージャーナリストの村上氏からエネルギーシフトについて講演をいただき、私が思っていたエネルギーシフトの認識が全く違っていったことに気付きました。取組の一つとして省エネがあり、エアコンの設定温度を上げるといった我慢の省エネではなく、快適性を維持したままの省エネが大切ということ。例として古い冷蔵庫を新しいものに買い替えることで、未来にわたって電気消費量を抑えること。その際に地元にて冷蔵庫を購入し、地元でお金を回すことが大切だと語られました。また地域でエネルギーを作り、消費するといった事例を報告いただき、地域でエネルギーを作ることによって新しい仕事・雇用を生み出すことができ、今までは電力の対価は外に出ていったものが地元にお金が回すことができるようになり、地域が活性化するといったことで、まさに中小企業が取り組んでいくべきことだと学びました。今回は参加の機会をいただきありがとうございました。

会員活躍

長崎新聞
5月26日
諫早支部
北島 美智子 会員

来月から講座スタート

タブレット端末を使った介護予防プログラムの講座などを開く多目的スペース「みんなのえがおカフェ KIKIITO(ききっと)」が19日、諫早市多良見町にオープンした。

代表の北島美智子さん(45)は夫の不動産業を手伝っていたが、高齢化が進む中、認知症予防に貢献しようという開業を決意。同店でインストラクターを育て、雇用創出を考えている。

店名は地名の喜々津と、「喜々として」を組み合わせた。介護予防プログラムは来月から実施、タブレット端末のアプリケーションを使い、ゲームやストレッチ体操をしていく。

19日は知人ら13人が参加。北島さんがタブレット

諫早のカフェ KIKIITO

脳トレいかが タブレット端末で介護予防



タブレット端末を使った認知症予防トレーニングを始める北島さん(中央)
＝諫早市多良見町

端末を使い、脳トレーニングの実演。同スペースは多目的室や雑貨屋、くつろげるフリースペースも備えている。北島さんは「みんな楽しくわいわいできる場所にしたい」と話している。問い合わせは同スペース(電0957・43・6539)。(相良磨紀)

島原支部 財務勉強会 開催報告

支部総会にて参加者を募り、総勢22名の申込がありました。(内訳 島原支部14名+奥様2名+社員3名。大村支部2名。諫早支部1名。) 目的は『決算書を読むこと』、目標は『試験に合格すること』。第1回のオリエンテーションで講座参加への理由、今後の意気込みをお聞きしました。

まずは理由から。

『会社の金銭面をより理解したい』、『減多にない機会なのでこれを機に仕事上の数字に抵抗がないようにしたい』、『心から参加したいと思っていた念願の講座!』、『事務担当なので主人より理解していた!!(笑)』、『税理士まかせをどうにかしたい』。

次に今後の意気込み。『1発合格を目指して頑張ります!』、『金融機関と対等に話が出来ようになりたい』、『数字を理解することで一つの知識を得たい』、『苦手だった数字に強くなりたい』。



5月19日第2回から本格的に講座が始まりました。どんな人でも理解できるように、実際の事例等の資料を使いながら進めていくそうです。

(文責 永吉 杏奈)

V・ファーレン長崎



応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員(長崎支部 出島地区会)

テレビCM撮影 ¥50,000 ~

LINK

株式会社リンク
長崎市興善町4-1 興善ビル7階
TEL.095-820-8344 pref@link-co.jp

会員企業様のプロモーションDVDを作成します。(撮影5時間)

¥200,000

別途、ドローン(ラジコンヘリ)による空撮
¥30,000

※税別



島崎 和紀 会員(大村支部)

(株)福祉工房K's(佐世保支部 豊福和明会員) 経営計画発表会 参加報告

日時：5月30(土) 会場：佐世保玉屋



【参加者の声】

1. 初めての発表会との事で、皆さんの緊張と不安感が伝わってきましたが、豊福さんの奥様のサポートが素晴らしく、心地よい空気感が漂っていました。自社の強みや業態を良く理解され、人口増減を確実に把握し、目標を作られていると感じました。

豊福さんの最後の言葉の際に涙が込み上げてこれていたのが印象に残り、社員さんへの気持ちが熱い方だと感じました。3年ビジョンに向けて頑張ってください。

(有)片桐計量器店 片桐 孝章

2. 初めての発表会に参加させていただき有難うございました。いい社員さんに恵まれておられる社長の豊福さんと感じました。

良い社員さんは必ず頑張ってくださいますので社員を信頼し、心からお互い一人の人間として協力し合い大きく発展される事と思います。

利益追求と言われましたが、その前に、心・お客様・社員への心があれば必ず利益はおのずとついてくると思います。どうぞ、豊福さん 人の優しさで頑張ってくださいね。

ニコット・サービス(有) 江口 陽一

3. 参加させていただきとても感動しました。何よりスタッフの方の前向きな姿勢、笑顔が良かったです。豊福さんの思いは、きっと皆さんの心に強く残ったと思います。これからも経営者同士、お互い刺激し合って良い会社にしていきたいと思います！

(有)山崎マーク 山崎 秀平

4. 今回の発表会は大変優秀で、出来ていると思います。スタッフの良さ、社員一体、これを大事にしてください。えびすはいい名！

(有)カワカミ 川上 利夫

5. 経営指針書の作成によって、スタッフのベクトルが同じ方向に向いているなど感じました。

さらに今回の発表会で、理念・ビジョン・方針・計画の共有がより一層なされ、スタッフの方々がさらにたくましくなられたような気がします。とにかく皆さんいきいきとされているのが印象的でした。

尾崎陶器(株) 尾崎 彰宣

6. 豊福さんとは島原の経営フォーラム分科会で同卓した縁で、一年以内に指針書を完成させようと約束したことから、今日の発表会参加となりました。

スタッフ全員で理念と計画を共有し、全員で外部に向けて発信する！組織目標を公告する事で外部と約束する！重要である事は理解しながらも簡単には出来ない、生半かな覚悟では出来ないのが発表会。

拝見させていただいて感じたのは、スタッフの皆さんが組織の部門のそして個人の目標をしっかりと掲げているのではなく、覚悟を持って且つ、自分の言葉で発表している姿に感動しました。

忙しい日常業務の中でも、「理念経営」を忘れないで全員で取り組まれた結果だと思いました。弊社はもっと小さい会社ですが、来期は必ず開催したいと感じました。

島原支部 (有)壽物産 永吉 誠

7. 初めてとなる発表会に参加でき嬉しく思っています。開催にあたり、皆さんの準備は大変だったと思います。「まごのて」から「えびす」のこれからを知ること、スタッフの計画個人目標の報告を通して考えや人柄に触れることで、さらに身近に感じました。これが幼老総合ケア施設の目指す所に進む力となっていく事であると心強く、時間をさらに共有して勉強させていただきたい発表会でした。社員一同で共有し、育てる経営計画づくりは素晴らしい！

i SOLUTION JAPAN 八並 学



8. おめでとうございます。初めての開催でこれだけの計画書を作成する為には相当のご苦労があったと思われます。

現状の分析から資料集め、作成に至るまで豊福さんの人柄・性格が表現されていて、素晴らしい内容だったと思いますが、今後2回・3回と毎年経営計画発表会を開催される事によって改善し、より強靱な「福祉工房K's」様が佐世保一番店となり、佐世保の福祉業界を引率先導される事を願っています。

個人目標では各人の本気度が十分に伝わってきました。スタッフさんに恵まれた豊福さんは幸せですね。

(有)エムズ 川下 真文

9. 良く勉強されていますね。これまでの他社の経営計画発表会の良いところが存分に生かされていました。ひとつ感じたのは、間違いなく地域になくてはならない事業所に既になっておられると思いますが、そのあたりをもう少し前に押し出しスタッフ間に今一度、全社員で共有されてもいいのではないかと思います。スタッフの皆さんのスキルはとても高いと感じました

(株)広告のアクセス 山領 進

10. 本日はお招きいただきありがとうございます。今日の発表会では社員の方々の生き生きとした発表がとても印象的でした。

当法人も7月に実施予定ですので大いに参考にさせていただきたいと思います。豊福さん、社員の皆様本当にご苦労様でした

社会福祉法人 宮共生会 原田 良太

11. おめでとうございます。初めての経営計画発表会との事もあり、スタッフの皆さんが緊張しているのが伝わってきましたが、個人目標の発表が終わるあたりに皆さんの顔が少しホッとしているのが見えて、印象的でした。

経営計画書はスタッフの皆さんとしっかり打ち合わせ(コミュニケーション)を取り作成しました、豊福さんのしっかりとした現状の把握・ビジョンそれを元にした方向性の提示と内容の濃い計画書だと思いました。

STSOL府川開発 府川 正樹

12. 第1回目の発表会に参加させていただき、大変感激しています。初代として(株)福祉工房K'sを立ち上げ、職員を指導して新しいビジネスモデルである「幼老総合ケア施設」を運営する豊福さんは本当に頼もしいものです。

本日、発表の経営計画書により、今後すばらしい会社になっていくと感じた素晴らしい発表会でした。

(株)長崎地研 村山 隆之



13. 経営計画書が作成前の準備段階で、会社全体でよく練られていたので素晴らしかった。自社でも個人目標の発表をさせているが、やはりこの時間の為に発表会があるのだなと本日実感した。

他社の発表会が見られる佐世保支部のシステムは良い。これは豊福さん(委員長)のご尽力のたまものだ。また、佐世保支部での取り組みで年々各会員の発表会の来賓参加が増えている。当初は皆さん「勉強させていただきます」程度のレベルだったが、現在は会員も勉強し、知識・経験が高まり、現在は会員による審査員のような一面も出てきている。時には辛辣な意見・感想もあると思うが、とても良い仕組みになっていると思う。

プライアント(株) 橋口 久

14. 社員の方々からの昨年度を振り返り、それを踏まえた今年度の目標の発表の際に各々の役職や役割にもとづいて具体的な行動が示されていたことや、「同僚に応援してもらいたいと自分が今取り組んでいること」として、公私を問わないことがらを共有していたことが非常に素晴らしい取組だと感じました。また、初めての経営計画発表会とのことでしたが、経営発表会を終えた後の豊福さんをはじめ社員の皆様の充実をした表情に、皆様にとって非常に実りが多い経営発表会だったのではと思いました。

同友会事務局 田口 友廣



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。ご利用お待ちしております。

事務局企業訪問

「私達は健康資材メーカーとして世界に通用するモノ作りを追求し世の為、人の為、お客様の為に貢献できる企業です」。額に飾られた会社理念を着実に、確実に社員と共に実践している大村支部：アーテック工房(株)林田さんを訪問しました。

～アーテック工房(株)との出会い～

地元長崎で事務機の営業として働いていた林田さんに1つ目の転機が訪れるのは1997年31歳の時でした。東京でリフォーム会社を営む叔父に誘われ上京、会社を手伝うことになります。叔父の吉松氏の会社は建設業で大手の下請けがメインの会社だったそうです。しかしバブルの影響から林田さんが入社後3ヵ月で倒産。林田さんは帰崎し、事務機営業職で再度奮起することになります。順調に長崎で勤務していた林田さんに、ある日東京の吉松氏から連絡があります。吉松氏は倒産後、奇跡的に手元に戻った特殊塗料をもとに再度塗料の販売会社を立ち上げていたのです。熱心に誘われた林田さんは迷いながらも再度上京、営業職として頑張られたそうです。この会社がアーテック工房(株)。同社の戦略は「特許」と「公的データ」。一般的に防臭効果があるといわれる炭ですが、炭が持つ効果の数値がなされていない時代でした。先代の吉松氏は手元に残った特殊塗料に炭を加え、樹脂を塗り「水は通さず、空気は通す」という塗料を開発し特許取得に成功します。この特許技術を裏付けるために様々な研究機関にその性能、効果の実証実験を依頼し、公的データを蓄積されました。その後関連する特許を次々と開発、取得し、同時に公的データでその効果を裏付け、メーカーとしての信頼性を確固たるものにしていかれました。林田さんはその中で九州圏を任されると、大手ハウスメーカーや地場工務店からの受注が増え業績も伸びて行きました。今思うと当時の営業経験



は叔父である社長の愛情や厳しさが今の礎になっていると林田さんは話されました。

～代表取締役へ、社長としての覚悟～

2006年、吉松氏の夢であった「地元貢献」の思いが叶い、長崎での工場建設がスタート。売り上げも夢



ヘルスコートの上から水を入れても下へは通らない



下から空気を入れると空気だけを通す

も順調のはずでしたが、翌年吉松氏が末期の癌であることが発覚、2007年東彼杵に念願の工場ができる2ヵ月前、惜しくも他界されました。吉松氏の後、吉松氏の奥様が社長に就任し横浜から長崎へ本社を移転。専務取締役となった林田さんでしたが社長の体調不良が原因で2008年12月代表取締役に就任されます。社長就任後、以前から勤めている社員が言うことを聞いてくれない、何をしたいのかわからない、文字通り壁にぶつかった林田さんでしたが、懇意にしていたある美容室の経営者の一言で目の前に一筋の光が差します。「美容室は人が財産。何のために会社があるのか、なぜ利益が必要なのか。一人では何もできない。あなたの会社では、自信を持っている製品に『人』というキーワードを付け加えて経営者としての覚悟を持ってはどうか。」林田さんはそれまでの考えから、社員と共に成長する会社へと意識改革を行います。この頃縁があり、同友会へ入会。経営理念を作成し、今では恒例となった年1回目標、実践、検証のPDCAサイクルを確認する雲仙合宿を全社員参加で開催しています。「当社は特許戦略と公的データで製品の信頼性を確立し、また次の新しい特許に常に挑戦している。理念や目的という“思い”の部分とそれを数値的に裏付ける“そろばん”の二つを両軸にしている」と話す林田さん。同友会で得た気づきを生かし、実践の途中だと謙虚に話されましたが、その眼にはこれからも社員と共に

に挑戦し続ける決意がはっきりと映っていました。

～今後のビジョン～

ヘルスコート、ヘルスコ・キューア、スミキヤスという主力商品は特許技術というブランドと、確実な臨床データをもとに、大手ハウスメーカーに続々と採用されています。今後は国内市場のみならず、アジア、ロシア、ヨーロッパも視野に入れながら展開を考えられています。そのためにも今までの「特許と公的データ」という戦略に、新しく「広報」という概念を加えホームページの改革、動画の作成に取り組まれています。新しい市場の開拓に対し、出

ることを抑え、入るものを増やす。人にお金をかけ、同時に技術力で勝負する。一歩ずつ慎重かつ大胆に手を打つ経営者の周りには、林田さんと同じ思いを共有する社員が支え、励まし合う雰囲気を感じることが出来ます。

「仕事とは、学び。そして学びは連鎖する。」最後に話されたこの言葉には、自分が毎日成長していると実感している林田さんの今を物語っていると、強く感じました。

(文責 事務局 峰 圭太)

長崎同友会ホームページリンク集 会員企業掲載募集

長崎同友会のホームページ (<http://www.nagasaki.doyu.jp>) 内のリンク集がリニューアルし、会員企業のホームページをリンク集に掲載できるようになりました。

掲載方法は2種類あります。

- テキストリンクでの掲載
- バナーリンクでの掲載

(※会員企業 HP に長崎同友会 HP のバナーリンクをお願いいたします。また、会員企業のバナーには社名を必ず明記して下さい)

ホームページのリンク申請ページ

(<http://www.nagasaki.doyu.jp/request>)

より、ぜひお申込み下さい。お待ちしております。



M&A(企業譲渡・譲受) セミナーのご案内(7/14 長崎開催)

「後継者問題」、「先行き不安」をM&Aで解決した事例を紹介するほか、本に載っていない「成功の秘訣」と「リスクの回避方法」を公開します。

主催：日本M&Aセンター(中堅・中小企業のM&A仲介実績NO.1)

申込書は当事務所のホームページから印刷ください

<http://www.tkcncf.com/fukui>

福井義憲税理士事務所(日本M&Aセンター理事会員)：出島地区会員

TEL 095-842-3555 FAX 095-842-3557

福井 義憲 会員(長崎支部 出島地区会)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

6月理事会 議事録 抜粋

6月4日(木) つくば倶楽部

開会挨拶－松尾代表理事

6月2・3日と中小企業憲章キックオフ集会と九州・沖縄ブロック代表者会議に参加いたしました。キックオフ集会は年々参加者が増え、200名近くの会員が集まりました。また、長崎の国会議員の方にも多く参加いただき、今後お付き合いをするなかでこういった取り組みをしているということがアピールできた良い機会となりました。また、幹事会では中同協の在り方・経費・負担金等についてグループディスカッション致しました。東京と長崎では状況が違っていると思いますが、今後長崎の立ち位置とスタンスを考えていかなければならないと感じました。

仲間づくりについて

※7名の入会、1名の復会、2名の変更、4名の退会を承認

杉本仲間づくり委員長総括

仲間づくり委員会の出席率が上がり、活発に意見が飛び交うようになりました。勉強会を充実させたり、いかに同友会の魅力を伝えようかと意見がでてきており、こうした取り組みが退会防止にもつながるのではないのでしょうか。また、7月6・7・8日の3日間で「仲間づくり委員会県下一斉キャンペーン」を行います。それに伴い6月には各支部例会にてキャラバンを行いますので、どうぞよろしくお願いします(松尾代表理事より)

空白地域や隣の市町村でもぜひ仲間づくりをしていきましょう

協議・承認事項

1) 女性部会について

(三役会案)

現在作成している会則や入会申込書については「案」とし、来期女性部を独立させ青年経営者会と同じ立ち位置にする方向で進める

→(補足・意見として)

・7月31日に女性部会・障がい者問題担当委員会として、「女性部会」にフォーカスした第1回例会を行う。パネルディスカッションとして女性を多く雇用する会員・行政・学校関係者に参加いただき、働く女性や女性雇用の悩みを出していただいた上で、今後はその悩みをテーマとした例会を開催していきたい

・全国の同友会でも女性部会が活躍しているので、交流する時などにやりやすい・分かりやすい方がよいのではないのでしょうか。長崎同友会の女性部として全国で交流を広めて欲しい

(総じて)

方向性として中村委員長と相談しながら三役会案をすすめていくことを確認

2) 第44回定時総会について→収支承認

3) 役員研修会について

(三役会案)

同友会理念、歴史などを中心とした普遍的な資料を作成する。全体の役員研修会は9月26日(土)13:00～(懇親会終了を20:00頃)とし、全体の役員研修会に参加できない役員に関しては上記の資料を活用し支部単位でフォローを行う。資料に関しては松尾代表がたたき台を作成する

→(意見として)

・資料を作成することに賛成。完成すれば支部での活用も期待できる

(総じて)

三役会案を承認

4) 第22回経営フォーラムについて

(前回までの決定事項)

- ・組織図
- ・日程：2015年11月6日(金)
- ・会場：メイン会場…松浦シティホテル、サブ会場…漁村体験センター
- ・記念講演者：山本 有 二 氏

(今回提案事項)

- ・テーマ「人を生かし、企業を創り、地方(まち)が輝く!!」
- ・報告者
第1分科会(経営指針づくり)：(株)愛しとーと代表取締役岩本初恵氏
第2分科会(経営環境)：平戸市長 黒田成彦氏
第3分科会(事業承継)：県内会員予定

・スケジュール

13:00～分科会 16:30～全体会 17:00～記念講演

19:00～懇親交流会 20:30 終了

→(補足・意見・質問として)

・質問：岩本初恵氏は同友会会員か？ 経営指針は同友会が考えるものとかけ離れていないか？

回答：同友会会員ではない。北松浦支部で訪問例会をした。その時に会社の仕組みづくりや全国販売における社員のモチベーションの上げ方などに素晴らしく感動した。明確な経営指針を持っている方なので選定した。同友会にない部分も学んでいただきたい

・質問：第2分科会の中小企業の取り組みとは何か？

回答：全国1位となった平戸市のふるさと納税だが、その目的を明確に中小企業の育成・教育としている。事実上、莫大な資金を中小企業の育成に使い、黒田市長のビジョンの中にも中小企業の育成が明確にあるため上記の回答を受け：「中小企業の取り組み」ではなく「中小企業への取り組み」ということを確認

(総じて)

※「テーマ」「第1分科会報告者」「第2分科会報告者」「スケジュール」を承認

※7月理事会にて、チラシ案、予算案、記念講演テーマ、分科会報告テーマの上程を依頼

5) 情報広報委員会からの提案について

→広報誌の印刷代、郵送代削減に向け、広報誌の電子化を検討

(三役会案)

各例会に広報誌を持参することで郵送費が削減できることから、例会報告マニュアルを参考に締め切りを徹底する(支部役員会で確認いただく)。同時に電子化を希望するアンケートを取り、希望する方への郵送は行わない。例会時には、受付等に置き希望者にとっていただく

※三役会案を承認

6) 仲間づくり委員会からの提案(20年カレンダー)について

理事会において島原支部：池田会員から説明をいただき、まずはA3サイズで理事の方に活用を依頼し7月理事会にてその結果を検証するという三役会案を承認

※「配布後どのように検証・管理するのか」「著作権は問題ないか」について仲間づくり委員会にて協議・確認する

(意見・質問として)

・質問：会員への周知の方法は？

回答：各支部の委員会で動いていただくのがよい。仲間づくりだけが主導すると、会員拡大のツールになってしまうが、各委員会で使ってもらって様々な意見・アイデアがでてくる

・質問：県仲間づくり委員会が音頭を取って行うのか？各会員の使用状況等誰が管理するのか？

回答：仲間づくり委員会での管理は難しい

意見：広めていくためにはしっかりと管理・検証を行うところが必要である

7) 慶弔規定について

代表取締役就任、新店舗オープンなどのお祝いごとに対して2,000円前後の電報を送る。送るかどうかの判断は事務局の裁量とするという三役会案を承認。ただし、電報を送付後、理事に報告を行う

8) 事務局について

・給与規定について報告

→西村専務理事、石橋財務委員長、社労士の会員を交えて一度検討する。今後三役会で随時協議し、進捗を随時報告する

・経理担当 江藤事務局員退職に伴い山下真利子さんの採用を承認。(3か月間は試用期間とする)

・峰事務局員を事務局次長に推薦→承認

報告・連絡事項

1) 5月県本部・各委員会・各支部・各地区会等の活動状況について

2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)

5月の例会では、昨年度に比べ出席率が1%ダウンですが、各支部・地区会にて出席率の格差が広がっています。大村支部と島原支部ではしばらく返信率100%が続いており、結果として良い出席率にもつながっているのではないのでしょうか。6月は合同例会が多く開催されますが、開催支部の出席率が高くなり、それ以外の支部が低くなる傾向があります。合同例会にはメリットも多いですが、デメリッ

トもあることを認識し、開催支部ばかりが動くのではなく、ぜひすべての支部が協力して例会づくりをしてください。

7月では4支部で他支部の報告者の報告となっており、昨年に引き続き支部間の交流ができています。また、最近例会企画書の空欄が増えてきました。内容が決まっていなくて、書けないと思いますので、スピードをあげて取り組んでいただければ幸いです。鳥原支部からは毎回しっかりと例会企画書が提出されており、魅力ある例会づくりが返信率や出席率アップにもつながっているのではないかと思います。

3) 中同協 主要行事の紹介

4) 4/1(水) 合同入社式収支について

→土井共育委員長より報告。当初予定していた予算には手をつけず、黒字での収支となった

5) 5/9(土) 経営・労務担当委員会企業訪問セミナー開催について

→(吉澤経営・労務担当委員長より) 九一庵食品を企業訪問してどうして成長するのかよく分かりました。みなさんもぜひ、地域の方や同友会の仲間と九一庵食品を訪問して下さい

6) 5/16(土) 長崎ウエスレヤン大学保護者会参加について

→(山田支部長より) 松田相談役に中小企業と学生の就職について講演いただきました。会員も約10名参加、長崎ウエスレヤン大学との連携が徐々にスタートしています。また、6月の大村・諫早・鳥原3支部合同例会では、長崎ウエスレヤン大学の佐藤さんより報告をいただきます

7) 5/23(土) ダイヤモンドクラブ例会について

→(松尾代表より) 富永会長のもとに多くの諸先輩が集まりました。みなさんこの日を大変楽しみにしていました

8) 5/30(土) 松浦市条例振興シンポジウムについて

→(池野支部長より) 中小企業庁長官の北川氏より地方創生の主役を担う中小企業をテーマに講演いただきました。2部では中小企業庁長官の北川氏・拓殖大学 山本教授・長崎県立大学 車教授・北松浦支部 稲沢会員・松浦市工業会代表 前田氏・女性企業家代表 熊本氏によりパネルディスカッションがあり、非常に勉強になりました。車先生には松浦市の1回目の振興会議に参加いただき、私も副委員長として参加しました。その中では本気で様々な議論がされ、非常に勉強になりました。参加いただいた会員のみなさま、お忙しい中ありがとうございました。

9) 長崎総合就職支援センターへの登録について

→同友会主催の社員研修が可能になり、メリットが多いため登録する

10) 3ヵ月間会費滞納者についてーなし

11) その他

(吉澤経営・労務担当委員長より)

九州・沖縄ブロック支部長・支部役員研修交流会にて報告しました。20分でこれまでの5年間を振り返ることができたのはありがたく、学びがありました。応援にきていただいた長崎同友会のみなさんにも多くの学びがあった研修交流会だと思います。今後はもっともっと長崎の方に参加していただき、その学びを支部に持ち帰っていただきたい、それが役員の役割だと思います。

(宮田政策委員長より)

6月2日、中小企業憲章キックオフ集会に参加しました。200人近くの会員と36名の国会議員が集まり、同友会をしっかりとアピールすることができました。参加した国会議員の方もニュースで良く見る顔ぶれでした。当日の熱気がどれだけの会員に伝わっているのか、今後は会員の方に積極的に伝えていきます。

(松尾代表理事より)

6月2日中小企業憲章キックオフ集会に参加しました。中小企業憲章は閣議決定されましたが、国会では議決されておりません。もう一度超党派で作成し、国会で議決するようみなさんご協力をお願いします。

(諫早支部 馬場副支部長より)

今回、初めて理事会に参加しました。支部と県の話の総合して聞いていると、役員として張り合いがあると感じられました。もっと会員のみなさんにこうしたことが行われているということが伝わればよいと思います

留意事項

1) 2017年中同協役員研修会について(長崎での開催)

2) 2019年中小企業問題全国研究集会(全研)について(長崎での開催)

ニュー長…立食1000名、椅子800名、分科会対応約5室
ベストウェスタン…立食1000名、椅子900名、分科会対応最大6室
※中同協確認事項最大1000名(上限を設ける)でも全国大会開催可能
→ランタンフェスティバルと日程を合わせることも検討。各ホテル、旅行代理店等に徐々にヒアリングを開始する
※他県の情報を集め、必要経費を調べる

閉会あいさつー石橋財務委員長

多くの審議事項お疲れ様でした。事務局より2人の退職者があり、財務委員長の私も1年目ということで不安に思われる方もいらっしゃると思いますが、4月の監査や支払の承認もしっかりと引継ぎを行うことができました。今後、入局される山下さんも経験豊富で経理に向けた細やかな気遣いができる方です。今後もしっかりと財務委員長として務めますので宜しくお願いします

次回日程…7月2日(木) 場所…未定

会員消息

●企業住所等変更

上野 辰一郎 会員 (長崎支部 浦上地区会)
新企業名: (有)協和会計
新役職名: 取締役
(上記以外は変更なし)

池田 務 会員 (長崎支部 出島地区会)
新FAX番号: 095-844-1311

廣谷 慎也 会員 (諫早支部)
新役職名: 代表取締役

佐藤 敬弘 会員 (大村支部)
新企業名: 山下・川添総合法律事務所
新役職名: 弁護士
新住所: 長崎市万才町3-13 第1森谷ビル8F
新電話番号: 095-825-1314
新FAX番号: 095-825-9099

会 員 数 (6月1日現在)

	長 崎 (浦上)	(出島)	大 村	諫 早	鳥 原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	252	138	114	81	81	60	141	55	700
期首	198	109	89	64	63	46	111	45	550
現在	198	111	87	64	66	45	110	45	552

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会 員 名	支 部・地区会名	入会年月
(有)池山蒲鉾店	池山 由美子	長 崎・出 島	2014年 3月
レストランパーセルバン	井 原 崇 通	長 崎・出 島	2011年 8月
(株)スマイル	大 竹 山 浩	佐 世 保	2015年 3月交代
(株)ホンダ四輪販売長崎	木 下 正 博	佐 世 保	1996年 3月

「退局のごあいさつ」

在職中は皆様に色々とお世話になりました。
お教えいただいた数々のことは、私の大切な財産となりました。
今後の人生にこの貴重な経験を生かしていこうと思います。
ありがとうございました。

岩永 寛子